

2018年3月23日（金）

震災・復興とリスクマネジメント（ ）国際都市神戸と世界の文化（ ）提言：国際紛争・対立から平和・協調へ（ ）グローバルサイエンスと拠点都市神戸（○）その他（ ）

日本物理学会第14回 Jr セッション参加

【概要】グローバルアクションプログラム「課題研究成果発表」の一つとして、日本物理学会年次大会内の第14回 Jr セッションに応募しました。5年生1名が一次選考を通過し、3月23日（金）に東京理科大学野田キャンパスで Kobe プロジェクトの研究成果を発表しました。



他の Jr.セッションに参加した中高生や、物理学専攻の大学院生・大学教員と120分の議論を交わしました。鋭い質問をたくさん受け、大きな刺激を受けました。

参加生徒の感想

Jr セッション参加者は、物理に関するあらゆるテーマについて各自が研究しその成果を発表します。僕はその Jr セッションで、本校のプログラムの KP を発表しました。僕は「水の蛇行要因と追跡性に関する研究」をテーマとしました。自分では実験を十分行っていたと思っていましたが、Jr セッションに参加していた全国の他校の生徒はより細かいところまで実験していてより質の高い研究内容でした。

この Jr セッションに参加したことで、本当に質の高い研究とは何かを知ることができ、本校で発表するだけでは知ることのできなかつたと思います。井の中の蛙であることを忘れてはいけなと再確認することができました。